

ゴミ処理施設受注

奈良衛生組合から113億円

新明和

新明和工業は8日、奈良県の山辺・県北西部広域環境衛生組合から家庭ゴミなどの中間処理施設を受注したと発表した。不燃・可燃ゴミやプラスチック、資源ゴミなどを破碎・圧縮しリサイクル施設や処理場に搬出する。天理市内に建設し、処理能力は1日23・5ト。2025年4月完成予定で受注額は113億円(消費税抜き)。

推進の施設を国内外に多く納めている実績などから受注につながった。同組合が新設する再資源化推進施設の設計・施工で、完成から50年4月までの運営も手がける。ゴミの受け入れ、破碎、搬送、圧縮、搬出の各設備などで構成する。

外観・内観を開放的な空間とし、地域交流や学習施設としての拠点機能も加える。同組合は大和高田市、天理市、山添村、三郷町、安堵町、川西町、三宅町、広陵町、上牧町、河合町で構成する。



地域交流や学習施設としての拠点機能も加える山辺・県北西部広域環境衛生組合のリアル推進施設(完成予想図)